

超音波ネブライザー COMFORT 3000

【警告】

- 薬液の種類、用量、用法については、必ず専門の医師の指導に従うこと。
[本製品の霧化原理に適さない薬液もあります。また、症状が悪化するおそれがあります]
- 器械の操作については、医師または医療従事者の指導に従うこと。
[症状が悪化するおそれがあります]
- ご購入後、初めてお使いになるときや、長期間ご使用にならなかったときは洗浄・消毒を行うこと。
[本製品は未消毒で出荷されます]
- 複数の人が使用する場合は、必ず使用する人ごとに消毒済みの薬液カップ、霧化室、マウスピースなどを使用すること。
[感染するおそれがあります]
- 薬液カップは消耗部品です。薬液カップにへこみや傷、穴あきなどある場合は使用前に新しいものと交換すること。
[作用水が薬液に混入し、感染や症状が悪化するおそれがあります]
- 一度使った古い薬液は廃棄し、吸入ごとに新しい薬液を使用すること。
[雑菌に感染し、症状が悪化するおそれがあります]
- 水を用いての吸入はしないこと。
[症状が悪化するおそれがあります]

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- ネブライザーマスク（大）は再使用しないこと。
[感染するおそれがあります]
- 作用槽内には、水（水道水または蒸留水）以外の液体は入れないこと。
[振動子が劣化し、破損や霧化能力の低下の原因になります]

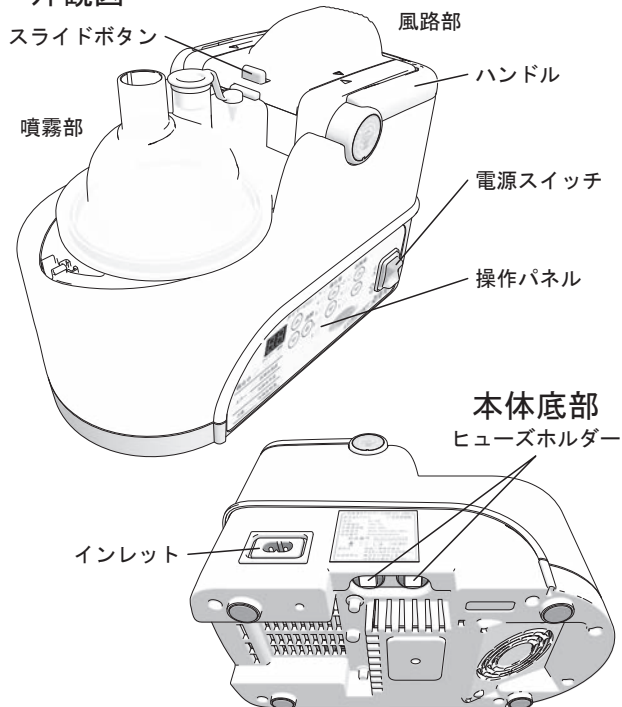
＜併用医療機器＞

- 人工呼吸器（麻酔器に組み込まれたものを含む）の回路に本製品を接続して使用しないこと。
[本製品は吸入用であり、呼吸回路に接続すると回路内圧が異常に高くなるなど、患者に悪影響を及ぼすおそれがあります]

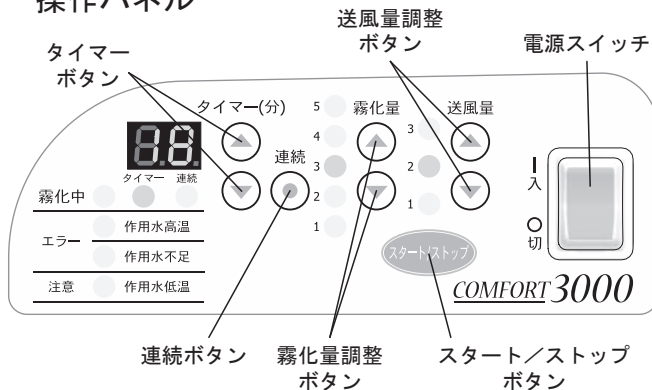
【形状・構造及び原理等】

** ＜主要部の形状と名称＞

外観図



操作パネル



＜仕様＞

外形寸法：幅約260mm × 奥行約145mm × 高さ約195mm
（突起物除く）
本体質量：約2.4kg（本体のみ）

** ＜電気的定格＞

定格電源	交流100V（50Hz - 60Hz）
消費電力	40VA／39VA±10%（50Hz / 60Hz）
電撃に対する保護の形式	クラスⅡ機器
電撃に対する保護の程度	B形装着部
電磁両立性規格（EMC）	本製品はEMC規格『JIS T0601-1-2：2018』に適合しています。

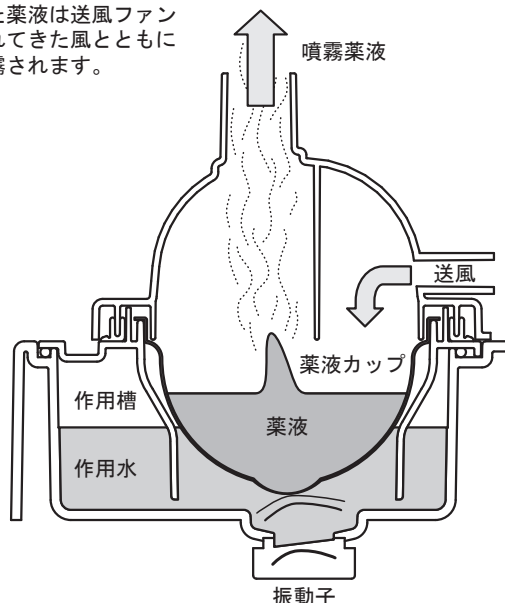
＜構成＞

構成品／付属品（構成部品名）	材質／規格	個数
本体	アクリロニトリルブタジエンスチレン共重合体	1台
└ 霧化室	ポリカーボネート	1個
└ カップホルダー	アクリロニトリルブタジエンスチレン共重合体	1個
└ 薬液カップ	ポリプロピレン	1個
耐熱送気ホース	エラストマー	1本
ネブライザーマスク（大）	ポリ塩化ビニル（再使用禁止）	1個
マウスピース	ポリプロピレン（耐熱）	1個
フック	ポリプロピレン	1個
電源コード	125V-7A（2×0.75mm ² ）、VCTFK	1本

取扱説明書を必ずご参照ください

＜動作原理＞

1. 作用槽底面にある振動子から超音波振動エネルギーを発振させます。
2. 振動子から発振された超音波振動エネルギーは作用水を伝搬して薬液の入った薬液カップ底部、さらにその内部の薬液へと伝搬します。
3. 薬液カップ内の薬液は、液面にエネルギーが集中することにより液柱が立ち、その先端部から霧状になって飛散します。
4. 霧化された薬液は送風ファンから送られてきた風とともに外部に噴霧されます。



【使用目的又は効果】

患者に吸入させるため、エアロゾル化した医薬品を供給する装置をいう。
エアロゾルを発生させる超音波トランスデューサ及び、エアロゾル化した医薬品を機器外部へ噴霧させる送風ファンなどを内蔵する。

【使用方法等】

＜使用環境＞

温度：+10℃ から +40℃
湿度：30%RH から 75%RH（ただし結露なきこと）

＜使用方法＞

1. 吸入前の準備

- ① スライドボタンを後方にスライドさせ、霧化室を取外します。
- ② カップホルダーを取外します。
- ③ 作用水を作用槽内の水位線まで入れます。
- ④ カップホルダーを水平で安定した場所に置き、薬液カップを取付けます。
- ⑤ 薬液カップに薬液を入れます。
- ⑥ カップホルダーを本体へ取付けます。
- ⑦ 霧化室を取付けます。
- ⑧ 耐熱送気ホースやマウスピースなどを取付けます。

2. 使用中

- ① 本体の電源スイッチが『○』（切）になっていることを確認し、電源コードを接続します。
- ② 本体の電源スイッチを『|』（入）にします。
- ③ タイマーボタン、連続ボタンを操作し、吸入時間を設定します。
- ④ 送風量調節ボタンを操作し、送風量を設定します。
- ⑤ 霧化量調節ボタンを操作し、霧化量を設定します。
- ⑥ スタート/ストップボタンを押し、噴霧を開始します。
- ⑦ 吸入を開始します。
- ⑧ 噴霧が停止し、吸入が終了したら、電源スイッチを『○』（切）にし、電源プラグをコンセントから抜き、電源を切り離します。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 吸入以外の目的で使用しないこと。
[症状が悪化するおそれがあります]
2. お子様または体が不自由な方が使用する場合は、保護者または介護者の方が必ず付き添うこと。
[使い方を誤り、症状が悪化するおそれがあります]
3. 作用槽及び薬液カップ内が空の状態では動作させないこと。
[振動子が劣化し、破損の原因になります。また、発熱や故障の

4. 破損や変形した薬液カップは使用しないこと。
[故障や霧化能力低下の原因になります]
5. 本製品の付属品及び本製品の別売品以外は使用しないこと。
[正常に動作せず、症状が悪化するおそれがあります]
6. ホースが折れ曲がった状態で使用しないこと。
[薬液がホースにたまり、霧化量が低下することがあります]
7. 頭より高い位置に本体を置いて使用しないこと。
[薬液が垂れて、衣服などを汚すことがあります]
8. 不安定な場所や、子供の手が届くところには置かないこと。また、使用中や使用直後に傾けたり、持ち運んだりお手入れをしないこと。
[高温になった作用水や高温部に触れると、やけどをするおそれがあります]
9. 噴霧した薬液（生理食塩水など）が直接本体に降りかかる使い方をしないこと。
[故障の原因になります]
10. コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないこと。
[たこ足配線などにより定格を超えると、火災の原因になります]

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

次のような環境に保管してください。
温度：-10℃ から +60℃
湿度：10%RH から 75%RH（ただし結露なきこと）

＜耐用期間＞

- * 仕様に記載された環境条件（作用槽の水温は26℃）のもと、26℃の生理食塩水30mLを1回10分間、1日18回（合計3時間/日）噴霧するという条件で以下の通りです。
使用環境によって変化し、使用頻度により耐用期間が短くなることがあります。
本体（消耗部品を除く） 7年（自己認証データによる）
- * （指定の保守点検および消耗部品の交換をした場合）

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

1. 薬液カップやエアフィルターなどの消耗部品は、機器の作動に支障をきたす前に交換すること。
2. 使用前に必ず本体が正常かつ安全に動作することを確認すること。
3. 日常点検及び保守点検（ユーザー点検）を必ず行うこと。
4. 1年に1度は、専門業者による年次点検、整備を必ず行うこと。
[性能や安全性を維持できなくなります]

＜洗浄・消毒について＞

注意：詳しい洗浄・消毒方法については
取扱説明書『お手入れ』の項をご参照ください。

1. 作用槽の洗浄時に振動子を損傷させないこと。
[振動子が劣化し、破損や霧化能力の低下の原因になります]
2. 洗浄に50℃以上のお湯を使用しないこと。
[故障の原因になります]
3. 本体や付属部品は洗浄後必ず滅菌または消毒すること。
[感染するおそれがあります]
4. 洗浄・滅菌又は消毒した部品は、十分に水洗いを行い、速やかに乾燥させたうえ、必ず清潔な場所に保管すること。
[消毒薬が残ったまま吸入すると症状が悪化するおそれがあります。また、乾燥が十分に行われていないと雑菌が繁殖し、感染の原因になります。]
5. 洗浄・消毒・乾燥後の各部品を組立てるときには、感染を防ぐため、薬液、霧の通る箇所に直接触れないこと。
[感染するおそれがあります]
6. エチレンオキシサイドガス（EOG）滅菌をしないこと。
[エアレーションが不十分な場合、残留、残存したエチレンオキシサイドガスにより、人体に悪影響を及ぼすおそれがあります]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社 興伸工業
電話番号：048-781-8800